



既存事業の磨き上げ
新規事業の創出・育成
強固な基盤の確立
コミュニケーションの活性化

Raise Up “Daido Spirit”



大同メタル工業株式会社

株主のみなさまへ

第111期 報告書

2018年4月1日～2019年3月31日

証券コード 7245

C O N T E N T S

株主の皆様へ	1
第111回定時株主総会決議のご通知	1
連結決算ハイライト	1
営業のご報告	2
中期経営計画 Raise Up “Daido Spirit” (2018-2023)	3
中期経営計画の実行	3
中期経営計画 - 財務戦略	4
2020年3月期業績予想	4
配当について	4
事業セグメント別概要(事業内容・売上高構成比)	5
TOPICS	6
決算の状況(連結)	7
業績の推移(連結)	8
企業情報	9
会社概要／役員	9
株式事項／グローバルネットワーク(主な拠点)	10
株主メモ	11
株式に関する諸手続のご案内	11
株主優待	11



代表取締役会長
兼最高経営責任者

判治誠吾



代表取締役社長
兼最高執行責任者

樫山恒太郎

第111回定時株主総会決議のご通知

2019年6月27日開催の当社第111回定時株主総会におきまして、下記のとおり報告並びに決議されましたので、ご通知申し上げます。

報告事項

- 第111期（2018年4月1日から2019年3月31日まで）事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
本件は、上記の内容を報告いたしました。
- 第111期（2018年4月1日から2019年3月31日まで）計算書類報告の件
本件は、上記の内容を報告いたしました。

決議事項

- | | |
|-------|---------------------------------|
| 第1号議案 | 剰余金の処分の件 |
| 第2号議案 | 定款一部変更の件 |
| 第3号議案 | 取締役8名選任の件 |
| 第4号議案 | 監査役3名選任の件 |
| 第5号議案 | 補欠監査役1名選任の件 |
| 第6号議案 | 役員賞与支給の件 |
| 第7号議案 | 取締役に対する業績連動型
株式報酬等の額及び内容決定の件 |
- 全議案は、原案どおり承認可決されました。

連結決算ハイライト

連結決算概要（2019年3月期）

売上高 前期対比10億円(1.0%)の増収

〈国内〉前期対比16.0億円(+3.2%)の増収

自動車関連は、国内需要が堅調に推移したことにより乗用車用軸受が増加し、トラック用軸受も前年度比微増となりました。ターボチャージャー用軸受販売については、グローバルでの需要減の影響もあるものの売上高は、前年度比微増となりました。船舶向け軸受販売は、新造船の受注量が増加し、底打ち感がみられ増収となりました。建築機械向け軸受販売は、需要が好調に推移し、増収となりました。一般産業においても堅調に推移し、前年度比並みの売上高確保となりました。

〈海外〉前期対比-5.3億円(△0.9%)の減収

自動車関連は、タイ・インドネシアの受注増やアルミダイキャスト製品の受注が拡大したものの、中国・韓国・台湾の自動車の減速によりアジア全体は減収。他方、北米は、自動車・建設機械・飯野グループの受注増で増収となりました。欧州(ロシア含む)は、1部自動車関係の受注増加があったものの、円高による為替影響を受け、減収となりました。

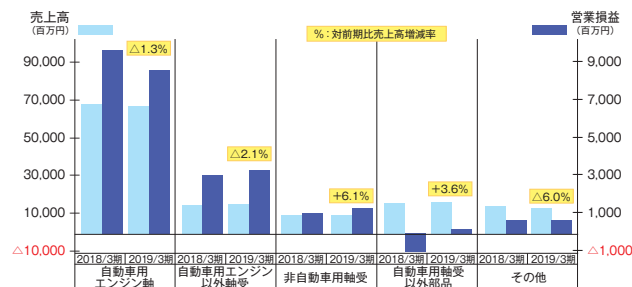
利益

自動車エンジン軸受及び自動車エンジン以外軸受は中国や韓国の景気減速の影響や、市場環境の変化による売上の製品構成の変化等のマイナス要因が発生しましたが、非自動車用軸受及び自動車用軸受以外部品は販売拡大や合理化による費用削減などが寄与しました。また、大同メタル佐賀株式会社の工場進出に伴う補助金による特別利益10億円を計上しました。

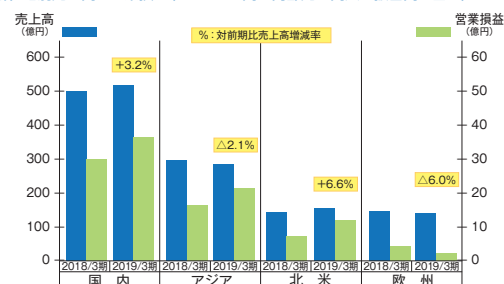
単位：百万円（百万円未満四捨五入、比率は表示単位未満四捨五入）

通期 業績推移	実績			
	2016/3期 通期	2017/3期 通期	2018/3期 通期	2019/3期 通期
売上高	81,400	85,073	106,648	107,718
営業利益 (営業利益率)	7,114 (8.7%)	5,103 (6.0%)	6,511 (6.1%)	6,944 (6.4%)
経常利益 (経常利益率)	6,796 (8.3%)	5,427 (6.4%)	6,708 (6.3%)	6,976 (6.5%)
親会社株主に帰属する 当期純利益 (純利益率)	3,919 (4.8%)	2,635 (3.1%)	3,281 (3.1%)	4,565 (4.2%)

■ セグメント別売上高・営業損益(外部顧客への売上高)



■ 所在地別売上高・営業損益(セグメント間の内部売上高又は振替高を含む)



株主・投資家の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申しあげます。ここに、当期(2019年3月期)における営業の概要についてご報告を申しあげます。

当連結会計年度における当社グループ全体の業績につきましては、売上高は1,077億18百万円となり、前年度比10億69百万円(+1.0%)の増収となりました。

利益面につきましては、自動車用エンジン軸受及び自動車用エンジン以外軸受のセグメントにおいて、中国や韓国の景気減速の影響や、市場環境の変化による売上の製品構成の変化、国内の労働環境の変化などのマイナス要因が発生しました。しかし、非自動車用軸受及び自動車用軸受以外部品のセグメントにおける販売拡大や合理化による費用削減などにより、営業利益は69億44百万円と、前年度に比べて4億33百万円(+6.7%)の増益となり、経常利益も69億76百万円と同2億67百万円(+4.0%)の増益となりました。また、大同メタル佐賀株式会社の工場進出に伴う補助金による特別利益10億円などもあり、親会社株主に帰属する当期純利益は45億65百万円と同12億83百万円(+39.1%)の増益となりました。

当社は、2018年度から2023年度までの中期経営計画をスタートしており、以下の4本の柱を経営の重要な軸と位置づけて取り組んでまいります。

第1の柱：既存事業の磨き上げ

"真のトライボロジーリーダーへ"

第2の柱：新規事業の創出・育成

"新たな事業の柱を築く"

第3の柱：強固な基盤の確立

"システム、財務基盤など経営基盤の整備"

第4の柱：組織・コミュニケーションの活性化

"外部環境に適応した柔軟で活力ある組織づくり"

中期経営計画の初年度である2018年度の主な実績は、以下のとおりでございます。

まず、既存事業におけるマーケットシェア(2018暦年、当社推定)につきましては、暦年生産台数ベース前年比、自動車エンジン用半割軸受の分野で32.5%から33.1%に増加、船用低速ディーゼルエンジン用軸受においては50.5%から53.5%に増加、船用・産業用中高速ディーゼルエンジン用軸受においては14.7%から15.3%に増加、ポリマー軸受においては12.8%から12.9%に増加しました。

ターボチャージャー用軸受に関するシェアは、28%から24%に低下したものの、2023年に40%を達成する目標に変更はございません。発電用タービンを含む回転機械用軸受においては昨年同様3.7%と横ばいと

なりました。

次に、新規事業(既存事業における新用途開拓を含む)につきましては、欧州での、風力発電用軸受の生産実現に向けて、計画を進めており、その事業の拡大に伴い、2019年4月には第2カンパニーTMBS(ターボマシナリーベアリングシステム)事業部を独立させて第5カンパニーを新たに設置し、その推進に注力しております。

また、タイでは、子会社のDMキャスティングテクノロジー社にてEV(電気自動車)向けのアルミダイカスト製品を2020年2月に生産開始を予定しており、欧州におきましても、NPRオプヨーロッパ社における資本提携を通じて日本ピストンリング株式会社との協働関係強化を行いました。

新規事業創出に向けた社内の体制づくりとしましては、2018年10月に、実績・経験のある分野に捉われずに、スピーディかつ継続的な新商品・革新的軸受技術の先行研究及び技術企画提案を強化・推進する目的で、技術ユニット内に未来創造室を設置いたしました。また、2018年度に、株式会社日本政策投資銀行が運営する「東海オープンアクセラレーター」に参加し、2019年2月には、スタートアップ企業2社と協業案の事業化を目指して、実証実験を進めることを決定しました。

さらに当社は、システムや財務基盤といった経営基盤の整備にも取り組んでおり、2018年9月には公募による新株式発行等を行うことで総額71億50百万円を調達し、自己資本比率の改善・財務基盤の強化を行いました。また、2019年3月28日付「固定資産の譲渡および特別利益の計上に関するお知らせ」によりリリースいたしましたとおり、同日開催の取締役会において、かつて本社兼名古屋工場として使用していた土地(現在は第三者に賃貸中です。)を譲渡することを決議しており、2020年3月期において約3,906百万円を特別利益として計上することを見込んでおります。

また、当社は、グローバルな人材採用・ダイバーシティー、ワークライフバランスの深化の推進として、2019年1月に「人権に関するガイドライン」を制定し、その下地を整えました。これまで、ワークスタイル改革として、総労働時間短縮に向けた取組みを実施して参りましたが、2018年度より更に「健康経営活動」をテーマに生産性向上に取り組んでおり、2018年10月に「大同グループ健康経営宣言」を制定いたしました。

中期経営計画のもと、当社グループ一丸となって経営の重要な軸である4本の柱に基づいた取組みを実践することで、企業価値の向上を図り、当社グループ全体の持続的発展に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後も引き続きご支援ご鞭撻を賜ります様お願い申し上げます。

2019年6月

Raise Up “Daido Spirit”

～Ambitious, Innovative, Challenging～

“大同スピリット”を更なる高みに引き上げ、
大きな飛躍の6年とする

Ambitious

【高い志】

Innovative

【改革する意欲】

Challenging

【挑戦する心】

Ambitious, Innovative, Challenging は、これまでも“大同スピリット”を構成するものとして社内で展開してきたものですが、これを更なる高みに引き上げ、大きな飛躍の6年にしようという思いを込めております。

それぞれの最初の文字をつないだ「AICH」は、当社発祥の愛知県にちなむものです。

また、AIは愛であり、AI(人工知能)でもあります。

当社は、愛と人間の知恵に人工知能も加えて、一層の飛躍を図ってまいります。

中期経営計画の実行

第1の柱 既存事業の磨き上げ“真のトライボロジーリーダーへ”

- ▶ すべり軸受 全分野世界トップシェアへ！
- ▶ 生産効率改善、IoT活用で利益体質の強化
- ▶ 業務改革推進室を中心としたBPR活動の実施

❖ グローバルマーケットシェア（暦年ベース／当社推定値）（%）

項目	2017 年	2018 年
自動車エンジン用半割	32.5	TOP 33.1
ターボチャージャー用(スモールターボ)	28.0	TOP 24.0
船用低速ディーゼルエンジン用	51.0	TOP 53.5
船用・産業用中高速ディーゼルエンジン用	15.0	(No.3) 15.3
ポリマー軸受	12.8	(No.2) 12.9
回転機械用軸受(発電用タービン等)	3.7	(-) 3.7

第2の柱 新規事業の創出・育成“新たな事業の柱を築く”

- ▶ 「未来」創造室の設置
- ▶ 積極的なM&Aにより新事業領域進出へ
- ▶ EV向けアルミダイカスト製品をタイ子会社で生産開始
- ▶ 欧州での、風力発電用特殊軸受生産を検討

従 来

- ・風車は、転がり軸受が主流
- ・定期的に交換が必要。その際は風車ごと取り外す必要あり、特に洋上風力では、発電の中断期間が発生する他、取り換えコストがかさむ。

すべり軸受の強み

- ・パーツだけの取り換えが可能となり、時間/コスト削減が可能。
- ・現在の状況：2021年に欧州での生産開始を目指し、複数のメーカーと共同開発、試作品のテスト中。

- ▶ 買収した会社とのシナジーの実現、カルムの拡張

第3の柱 強固な基盤の確立“経営基盤の整備”

- ▶ グローバル品質保証体制、最適生産、販売体制
- ▶ テクニカルセンターの6か国体制
- ▶ ドイツに欧州技術ユニット、R&Dセンターの設置
- ▶ グローバルガバナンス、コンプライアンス体制の強化・徹底
- ▶ グローバル人事制度の導入、ダイバーシティの推進

第4の柱 組織・コミュニケーションの活性化

- ▶ 個の力の総和を超える組織の力を生み出す
- ▶ 企業風土の変革を行い、チャレンジ精神を後押し
- ▶ ワークライフバランスの深化

中期経営計画 - 財務戦略

1. 財務の健全性を確保しつつ、成長分野へは積極投資

1. 収益力強化・キャッシュマネジメントによる有利子負債の削減
2. 既存事業の競争力維持のため、**年100億円程度の投資を継続**
3. 自動車用エンジン軸受関連の投資は、市場の縮小が急速に進む可能性に備え、計画期間後半の設備投資については慎重に対処
4. 研究開発、新規事業、M&A等については積極投資。**自己資本比率35%を目線に**財務の健全性を確保しつつ、必要なファイナンスを行う

2. 健全な設備投資

1. 投資効率改善のために、ハードルレートの見直しを行う
2. 投資後の効果測定を厳格に行い、投資の精度を上げる

3. 配当政策・企業価値向上

1. 安定的な配当継続。
2. **ROEを重視し、6年目で10%を目指す。**

2020/3期の第2四半期(累計)の業績予想は、下記のとおりです。
通期につきましては、現時点では業績に影響を与える未確定な要素が多いため、合理的に予測可能となった時点で公表します。

単位：百万円（百万円未満四捨五入）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
2020 年 3 月期 第 2 四半期 (累計) 予想 (A)	53,000	2,900	2,800	1,600
2019 年 3 月期 第 2 四半期 (累計) 実績 (B)	53,822	3,529	3,541	2,098
前年同期比 増減額 (A-B)	△ 822	△ 629	△ 741	△ 498
前年同期比 増減率 (%)	-1.5%	-17.8%	-20.9%	-23.7%

※当期想定為替レート：110 円 / 米ドル、123 円 / ユーロ

※ 1. 業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 2019 年 3 月 28 日に開示しました「固定資産の譲渡および特別利益の計上に関するお知らせ」のとおり、2020 年 3 月期に譲渡益約 3,906 百万円の計上を予定いたしております。

❖ 財務指標他

項目	2018 年度 (実績)	2020 年度 (計画)	2023 年度 (目標)
売上高(億円)	1,077	1,200	1,400
営業利益(億円)	69	100	140
営業利益率(%)	6.4	8.3	10.0
ROE(%)	8.5	9.5	10.0
設備投資(億円)	72	101	100
減価償却費(億円)	85	93	101
EBITDA(億円)	154	193	241
正社員女性比率*(%)	14.4	15.0	17.0
女性管理職比率*(%)	5.3	6.2	10.0

* 大同メタル工業株式会社 単体の指標

❖ グローバルマーケットシェア（暦年ベース。当社推定値）(%)

項目	2018 年 (実績)	2020 年 (目標)	2023 年 (目標)
自動車エンジン用半割	33.1	35.0	40.0
ターボチャージャー用(スモールターボ)	24.0	40.0	40.0
船用低速ディーゼルエンジン用	53.5	60.0	70.0
船用・産業用中高速ディーゼルエンジン用	15.3	16.0	20.0
ポリマー軸受	12.9	14.3	16.5
回転機械用軸受(発電用タービン等)	3.7	4.2	8.0

配当について

長期安定的な剰余金の配当水準を維持する方針から、当期の期末配当につきましては、2019年5月10日公表の予想値どおり、「1株当たり15円」とさせていただきます。

次期の配当につきましては、2019年11月4日に創立80周年を迎えるにあたり記念配当として5円を加味した、1株当たり年間35円(中間配当20円、期末配当15円)を予定しております。

	【前期】 2018 年 3 月期	【当期】 2019 年 3 月期	【次期】 2020 年 3 月期
中間	15 円	15 円	予定 20 円
期末	15 円	15 円	予定 15 円
年間配当	30 円	30 円	予定 35 円

自動車用エンジン軸受

■事業内容

自動車（乗用車・トラック・レーシングカー）エンジン用軸受、二輪エンジン用軸受、エンジン補機（ターボチャージャー・バルancer機構、インジェクションポンプ）用軸受など。

〈主な製品〉



▲半割メタル



▲スラストワッシャー



▲ターボチャージャー用
スラストベアリング

自動車用エンジン以外軸受

■事業内容

自動車部品（トランスミッション、ショックアブソーバー、空調用コンプレッサー、ステアリング等）用軸受など。

〈主な製品〉



▲ショックアブソーバー用
ブッシュ



▲スターター用ブッシュ



▲射出成型軸受

非自動車用軸受

■事業内容

船舶ディーゼルエンジン用軸受、発電（水車・タービン等）用軸受、産業用（コンプレッサー・増減速機等）軸受など。

〈主な製品〉

大型船舶用軸受



▲低速ディーゼル
エンジン用軸受

建設機械・ 中小型船舶用軸受



▲中高速ディーゼル
エンジン用軸受

発電用軸受



▲特殊軸受
（タービン用など）

一般産業用軸受



▲ドライベアリング

自動車用軸受以外部品

■事業内容

自動車用アルミダイカスト製品、曲げパイプ、ノックピン、NC切削品等

〈主な製品〉



▲切削加工品



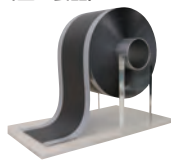
▲コンバーターケース

その他

■事業内容

電気二重層キャパシタ用電極シート、金属系無潤滑軸受、食品・飲料・化粧品等用のロータリーポンプ、工作機械用集中潤滑装置

〈主な製品〉



▲電気二重層キャパシタ用
電極シート

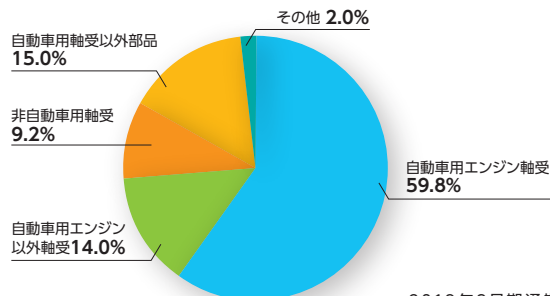


▲ロータリーポンプ



▲集中潤滑装置（MR-LUB）

売上高構成比（外部売上比率）



2019年3月期通期

大同メタル工業 創立80周年

当社は、**2019年11月4日**をもちまして、**創立80周年**を迎えます。1939年の創立より現在までの80年間の歴史を支えていただいた株主の皆様のご支援に深く感謝申し上げますとともに、100周年に向けて、当社グループ全従業員が一丸となって取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも末永く、ご支援ならびにご指導賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



スタートアップ企業とのオープンイノベーションのための実証実験の開始について

当社は、スタートアップ企業とのオープンイノベーションを目指し、株式会社日本政策投資銀行が運営する新規事業創出プログラム「東海オープンアクセラレーター」(2018年10月1日開始)に参加いたしました。

全国のスタートアップ企業から当社との協業案を広く募り、選考プロセスを経て、2019年2月8日に株式会社スペースリー及びMindhive Ltd.の2社との協業案の事業化を目指し、実証実験を進めていくことを決定いたしました。



公募増資実施のお知らせ

2018年9月に公募による新株式発行等を行うことで総額71億50百万円を調達し、自己資本比率の改善・財務基盤の強化を行いました。その使途は以下の通りです。

	資金使途	金額 (億円)
成長資金の確保	国内工場の設備投資 (主に自動車用の軸受の生産能力拡大と効率化)	18.7
	システム投資等 (販売・生産管理の基幹システムの導入、データ集約等の基盤構築)	9.3
	NPR of Europe への出資 (欧州で自動車用エンジン部品等を販売する会社)	8.2
	タイの子会社の製造工場新設のための投融資資金 (電動化自動車に使用するアルミダイカスト製品を製造)	16.3
	風力発電に係る風車の軸受を製造する新会社(欧州)の設立及び工場新設のための投融資資金	8.3
	合 計	60.9
財務基盤の強化	残額は借入金の返済資金に充当	
	自己資本比率を高め、財務の健全性を確保	

連結貸借対照表

単位：百万円（百万円未満切捨て）

科目／期別		前期 (2018年3月31日)	当期 (2019年3月31日)
資産の部	流動資産	71,823	79,379
	固定資産	89,207	83,739
	有形固定資産	64,947	62,043
	無形固定資産	15,085	12,591
	投資その他の資産	9,174	9,103
	資産合計	161,030	163,118
負債の部	流動負債	66,163	57,885
	固定負債	36,926	38,742
	負債合計	103,089	96,628
純資産の部	株主資本	49,336	59,446
	資本金	7,273	8,413
	資本剰余金	8,821	13,114
	利益剰余金	34,663	37,918
	自己株式	△ 1,422	△ 0
	その他の包括利益累計額合計	16	△ 1,660
	その他有価証券評価差額金	1,316	906
	為替換算調整勘定	557	△ 467
	退職給付に係る調整累計額	△ 1,857	△ 2,100
	非支配株主持分	8,588	8,705
	純資産合計	57,940	66,490
	負債純資産合計	161,030	163,118

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円（百万円未満切捨て）

科目／期別	前期 (2017年4月1日～ 2018年3月31日)	当期 (2018年4月1日～ 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,186	11,709
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 12,331	△ 5,462
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 53	△ 746
現金及び現金同等物に係る換算差額	238	△ 239
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 960	5,260
現金及び現金同等物の期首残高	12,827	11,866
現金及び現金同等物の期末残高	11,866	17,127

連結損益計算書

単位：百万円（百万円未満切捨て）

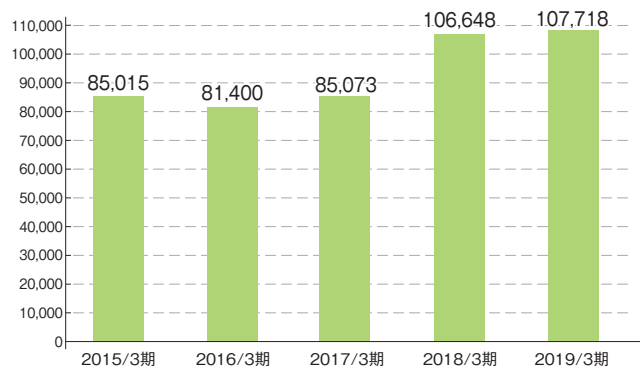
科目／期別	前期 (2017年4月1日～ 2018年3月31日)	当期 (2018年4月1日～ 2019年3月31日)
売上高	106,648	107,718
売上原価	78,848	80,262
売上総利益	27,799	27,455
販売費及び一般管理費	21,288	20,510
営業利益	6,511	6,944
営業外収益	1,416	1,442
営業外費用	1,219	1,411
経常利益	6,708	6,976
特別利益	-	1,000
特別損失	141	-
税金等調整前当期純利益	6,567	7,976
法人税、住民税及び事業税	2,221	2,557
法人税等調整額	217	13
当期純利益	4,128	5,405
非支配株主に帰属する当期純利益	846	840
親会社株主に帰属する当期純利益	3,281	4,565

連結株主資本等変動計算書

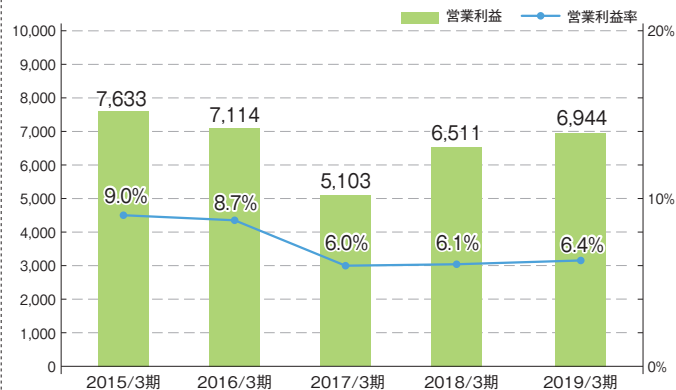
当連結会計年度（2018年4月1日～2019年3月31日） 単位：百万円（百万円未満切捨て）

科目／期別	株主資本	その他の 包括利益 累計額合計	非支配 株主持分	純資産 合計
当期首残高	49,336	16	8,588	57,940
当期変動額				
新株の発行	2,280			2,280
剰余金の配当	△ 1,310			△ 1,310
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,565			4,565
自己株式の取得	△ 0			△ 0
自己株式の処分	4,574			4,574
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）		△ 1,677	117	△ 1,560
当期変動額合計	10,110	△ 1,677	117	8,549
当期末残高	59,446	△ 1,660	8,705	66,490

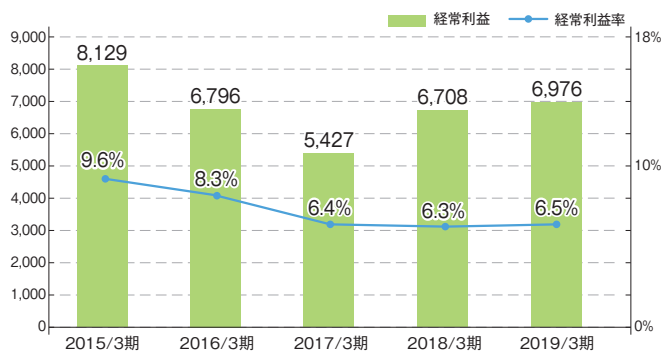
❖ 売上高



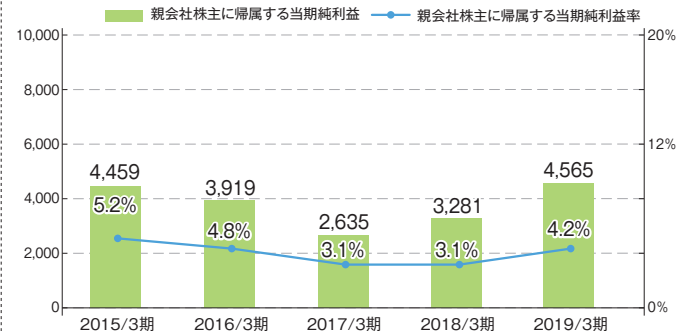
❖ 営業利益



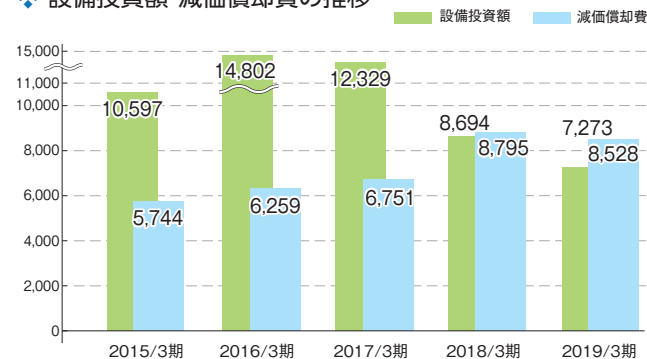
❖ 経常利益



❖ 親会社株主に帰属する当期純利益



❖ 設備投資額・減価償却費の推移



❖ 主要財務指標

	2016/3 末	2017/3 末	2018/3 末	2019/3 末	対前期末比
自己資本当期純利益率 (ROE)	9.0%	5.9%	6.9%	8.5%	+1.6P
自己資本比率	35.8%	29.1%	30.6%	35.4%	+4.8P
純有利子負債 (有利子負債－現金)	23,237	49,108	52,129	39,811	△ 12,317

会社概要

(2019年3月31日現在)

設 立	1939 年（昭和 14 年）11 月 4 日		
資 本 金	8,413 百万円		
従 業 員 数	連結 6,887 名／個別 1,296 名		
事 業 内 容	●自動車用エンジン軸受 自動車(乗用車・トラック・レーシングカー)エンジン用軸受、二輪エンジン用軸受、エンジン補機(ターボチャージャー・バルンサー機構)用軸受など ●自動車用エンジン以外軸受 自動車部品(トランスミッション、ショックアブソーバー、空調用コンプレッサー、ステアリング、インジェクションポンプ等)用軸受など ●非自動車用軸受 低速(2サイクル)ディーゼルエンジン用軸受、中高速(4サイクル)ディーゼルエンジン用軸受、発電(水車・タービン等)用軸受、産業用(コンプレッサー・増減速機等)軸受など ●自動車用軸受以外部品 自動車用エンジンやトランスミッション周辺の高精度・高品質部品(曲げパイプ、ノックピン、NC切削品等)、自動車用アルミダイカスト製品など ●その他 電気二重層キャパシタ用電極シート事業、金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業、不動産賃貸事業など		
本 社	名古屋本社 〒460-0008	名古屋市中区栄二丁目 3 番 1 号 名古屋広小路ビルディング 13 階	
	東京本社 〒140-0002	東京都品川区東品川二丁目2番24号 天王洲セントラルタワー17階	
国内生産拠点	犬山工場（犬山事業所内） バイメタル製造所（犬山事業所内） TMBS 工場（犬山事業所内） TMBS = Turbomachinery Bearing Systems（回転機械用軸受）	前原工場（犬山事業所内） 岐阜工場	
国内販売拠点	東京支店、名古屋支店、大阪支店、北関東営業所、浜松営業所、広島営業所、九州営業所		
関 係 会 社			
●国 内	大同プレーンベアリング株式会社、エヌデーシー株式会社、大同インダストリアルベアリングジャパン株式会社、大同メタル佐賀株式会社、大同メタル販売株式会社、エヌデーシー販売株式会社、大同ロジテック株式会社、株式会社アジアケルメット製作所、株式会社飯野製作所、ATA キャスティングテクノロジージャパン株式会社		
●海 外 (主な拠点)	【アジア】 中原大同股份有限公司（台湾） PT. 大同メタルインドネシア（インドネシア） 同晟金属株式会社（韓国） BBL 大同プライベート LTD.（インド） ダイナメタル CO., LTD.（タイ） 韓国ドライベアリング株式会社（韓国） フィリピン飯野 Corp（フィリピン） PT. 飯野インドネシア（インドネシア） ATA キャスティングテクノロジ CO., LTD.（タイ） DM キャスティングテクノロジ（タイ） CO., LTD.（タイ） 【中国】 大同精密金属（蘇州）有限公司（中国） 飯野（佛山）科技有限公司（中国） 広州原同貿易有限公司 【ヨーロッパ】 大同インダストリアルベアリングヨーロッパLTD.（イギリス） 大同メタルチェコ s.r.o.（チェコ） 大同メタルコントロール AD（モンテネグロ） 大同メタルヨーロッパ LTD.（イギリス） 大同メタルヨーロッパ GmbH（ドイツ） 大同メタルロシア LLC（ロシア） 【北米】 大同メタル U.S.A. INC.（米国） 大同メタルメキシコ S.A. DE C.V.（メキシコ） 大同メタルメキシコ販売 S.A. DE C.V.（メキシコ） ISS アメリカ INC.（アメリカ） ISS メキシコマニファクチャリング S.A.DE C.V.(メキシコ)		

役員

(2019年7月1日現在)

【取締役及び監査役】

代表取締役会長 兼最高経営責任者	判 治 誠 吾
代表取締役社長 兼最高執行責任者	檜 山 恒 太 郎
取締役 兼専務執行役員	佐 々 木 利 行
取締役 兼専務執行役員	井 川 雅 樹
取締役 兼常務執行役員	三 代 元 之（新任）
取締役 兼常務執行役員	佐 藤 善 昭（新任）
☆ 取締役	武 井 敏 一
☆ 取締役	星 長 清 隆
常 勤 監 査 役	玉 谷 昌 明
☆ 監 査 役	田 辺 邦 子
☆ 監 査 役	松 田 和 雄

【注】 ☆印は会社法に定める社外取締役及び社外監査役であります。

【執行役員】

上 席 執 行 役 員	宮 脇 敏 之
上 席 執 行 役 員	浅 井 眞 吾
上 席 執 行 役 員	古 川 智 充（昇任）
上 席 執 行 役 員	平 松 伸 隆（昇任）
上 席 執 行 役 員	吉 田 有 宏（昇任）
上 席 執 行 役 員	墓 越 繁 昌（昇任）
執 行 役 員	正 田 健 二
執 行 役 員	小 島 尚
執 行 役 員	川 瀬 誠
執 行 役 員	渡 部 晃（新任）
執 行 役 員	林 敦（新任）

株式事項 (2019年3月31日現在)

株式の状況

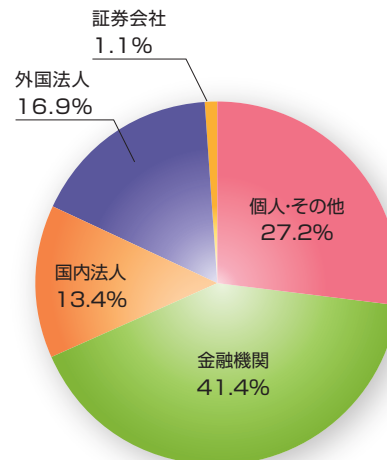
発行可能株式総数 80,000,000 株
 発行済株式の総数 47,520,253 株 (自己株式 324 株を含む)
 株 主 数 8,111 名

大株主

株 主 名	持株数 (千株)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	3,075
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,827
三井住友信託銀行株式会社	1,978
株式会社みずほ銀行	1,977
株式会社三菱 UFJ 銀行	1,822
大同メタル友栄会持株会	1,370
東京海上日動火災保険株式会社	1,107
ザ セリ ワタナ インダストリー カンパニー リミテッド 703000	1,000
ジェーピー モルガン バンク ルクセンブルグ エスエイ 380578	972
日新製鋼株式会社*	909

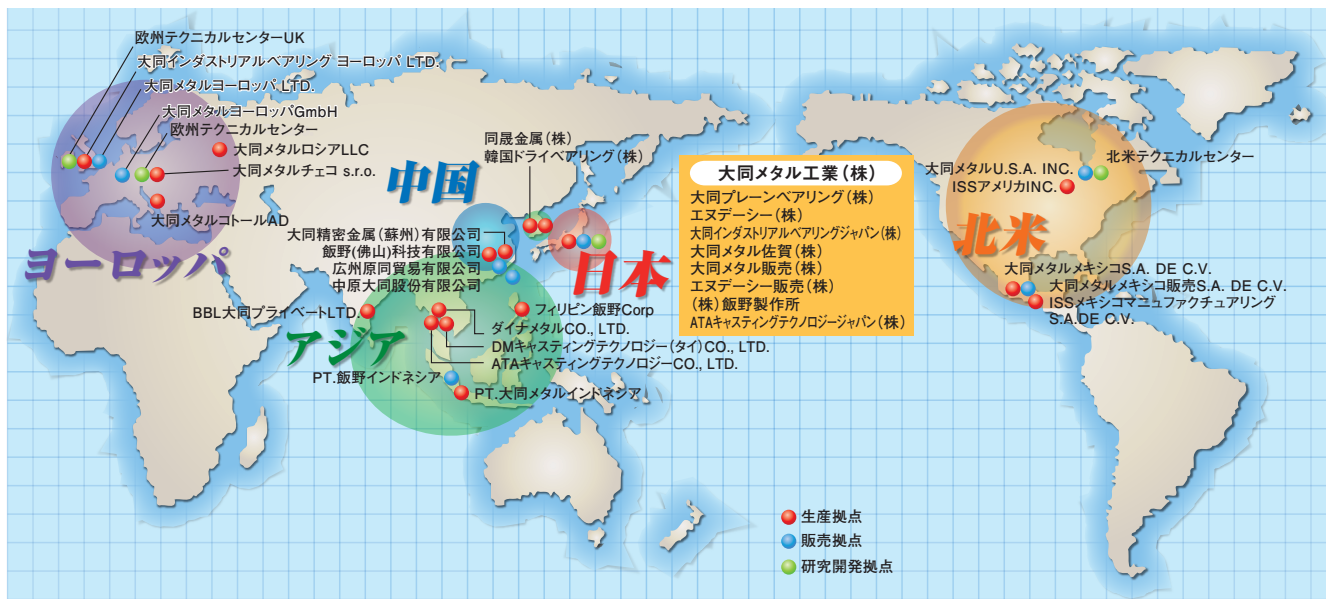
※日新製鋼株式会社は、2019年4月1日に日鉄日新製鋼株式会社に社名変更しております。

所有者別株式保有状況



グローバルネットワーク (主な拠点)

(2019年3月31日現在)



事業年度	毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目 4 番 1 号 三井住友信託銀行株式会社
定時株主総会	毎年 6 月	特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目 4 番 1 号 三井住友信託銀行株式会社
基準日	定時株主総会：毎年 3 月 31 日 期 末 配 当：毎年 3 月 31 日 中 間 配 当：毎年 9 月 30 日	郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目 8 番 4 号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の 本店及び全国各支店で行っております。
単元株式数	100 株		
公告方法	電子公告の方法により、当社のホームページ (http://www.daidometal.com/) に掲載します。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告を することができない場合は、日本経済新聞に掲載します。		
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部、名古屋証券取引所市場第一部		

株式に関する諸手続のご案内

住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

復興特別所得税について

2013年1月1日から2037年12月31日までの間(25年間)は、「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」が施行されており、「復興特別所得税」として0.315%(所得税額に対して2.1%)が併せて課税されています。

「配当金計算書」について

配当金お支払の際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。
ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行なわれます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。
なお、「配当金領収証」にて配当金をお受取りの株主様につきましては、配当金のお支払の都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

三井住友信託銀行株式会社

1 株式事務に関するご質問 (フリーダイヤル)
0120-782-031 [受付時間：平日 9：00 ～ 17：00]

2 インターネットによる株式に関する諸手続のご案内
<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

株主優待

株主優待制度の概要

- 株主優待の対象となる株主様
毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された、500株以上を保有の株主様。
- 株主優待の内容
毎年3月31日現在の保有株式数と継続保有期間に応じて、クオカードを年1回贈呈。
- 株主優待の贈呈時期
対象株主様には、定時株主総会終了後の6月下旬に報告書等とともに発送いたします。

保有株式数	継続保有期間	
	3年未満	3年以上
500 株以上～ 1,000 株未満	クオカード 1,000 円分	クオカード 2,000 円分
1,000 株以上～ 5,000 株未満	クオカード 1,500 円分	クオカード 2,500 円分
5,000 株以上	クオカード 2,000 円分	クオカード 3,000 円分

※「継続保有期間3年以上」とは、毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載または記録され、かつ3月31日および9月30日現在の当社株主名簿に、同一株主番号で、7回以上連続で記載または記録された株主様といたします。

大同メタル工業株式会社



<http://www.daidometal.com/>



環境に配慮した「植物油インキ」を使用しています。